

Zen v15 SP2 既知の問題

一般リリース – 2023 年 5 月

Zen v15 SP2 (build 15.20.nnn) には、リリース時に以下の既知の問題がありました。以前のリリースと比較して修正された不具合および機能強化については、エージーテック [Web サイト](#) で Zen v15 SP2 修正履歴を参照してください。

また、Zen の今回のリリースや以前のリリースのリリース ノート、および修正プログラムのリリース ノートをご覧になり、広範な修正や機能強化を確認されることをお勧めします。いくつかは、ここに記載されている問題に対処している可能性があります。

問題はそれぞれ、次の各見出しセクションに一覧表示されています。一覧に挙げる問題は、最新のものから古いものの順に示します。

- [クライアント リクエスター / 通信](#)
- [インストール](#)
- [MicroKernel エンジン](#)
- [SQL および Reporting Engine](#)
- [各種ユーティリティ](#)
- [Unicode](#)
- [Distributed Tuning Interface \(DTI\)](#)

クライアント リクエスター / 通信

追跡番号	説明
PSQL-5102	クライアントとサーバー間の通信セッションが有効でなくなった場合に、ステータス 95 ではなくステータス 170 が返されます。

インストール

追跡番号	説明
PSQL-8399	Client Reporting Engine をアップグレードすると、自動再接続タイムアウト値がデフォルト値にリセットされます。
PSQL-5131	128 バイトより長いインストール先パスを使用してインストールを行うと、MicroKernel が起動しなくなります。

MicroKernel エンジン

追跡番号	説明
PSQL-5109	クライアントによって排他モードで開かれたファイルのロールフォワードは、エラー 88 で失敗します。
PSQL-5107	Windows 2008 以降のバージョンで 2 つの異なるシンボリック リンクを使用してファイルにアクセスすると、ステータス 85 (ファイルはロックされている) になります。2 つのアプリケーションが 2 つの異なるシンボリック リンクを使用してファイルにアクセスした場合、2 番目に開いたアプリケーションはステータス 85 (ファイル ロック) になります。たとえば、このステータス コードが予想されるのは、1 つのアプリケーションが次のファイルを開き、 C:\ProgramData\Actian\Zen\Demodata\Class.mkd 別のアプリケーションが次のファイルを開いた場合です。 C:\Users\All Users\Pervasive Software\PSQL\Demodata\Class.mkd 回避策：両方のアプリケーションで同じパスを使用してファイルを開きます。
PSQL-5022	読み取り専用の仮想ディスクにあるファイルに対して Btrieve の Update オペレーションを実行すると、予想されるステータス 46 ではなくステータス 94 が返されることがあります。

SQL および Reporting Engine

追跡番号	説明
PSQL-10163	ウィンドウ関数の PARTITION を使用してヌル値を含む列の集計を行うと、SQL エンジンが応答しなくなる場合があります。
PSQL-10145	ワイド文字データ型を使用する ODBC 接続では、Position() スカラー関数でパラメーターを使用すると、エンジンが正しくない結果を返すことがあります。
PSQL-10125	数値の比較に使用される列に英数字データが含まれていると、メモリ リークが発生することがあります。
PSQL-10050	データベースが UTF-8 エンコードを使用している場合、SRDE の日本語エラー メッセージが文字化けして表示されます。
PSQL-10022	ストアド プロシージャの returns に日本語の列名を指定すると、文字化けして返されることがあります。
PSQL-9594	OVER 句の ORDER BY 列で DESC キーワードを使用すると、正しい順序の結果にならない可能性があります。
PSQL-5515	Reporting Engine に接続されているクライアントは、ストレージ エンジンを停止して再起動した場合、データにアクセスできません。
PSQL-5116	エンコードが異なるリモート データベースからデータを引き出した場合、データが破損していることがあります。
PSQL-5111	ビューを保存すると、ユーザーによって指定された列名が失われます。
PSQL-4980	古い 3.x 形式の DDF から一部のインデックス定義が正しくエクスポートされないことがあります。

各種ユーティリティ

追跡番号	説明
PSQL-10028	ZenCC で、以前にエクスポートした TIMESTAMP2 データをインポートすると、構文エラーが返されます。
PSQL-10005	一部のクライアント / サーバー接続でタスク ID がモニターに表示されません。
PSQL-9680	ZenCC で、バイナリ列のデータが正しくエクスポートされません。
PSQL-9480	ZenCC エンジンのデバッグ設定には、Delete Extended 関連のオペレーション (85 ~ 88) が含まれていません。
PSQL-8894	システム データ v2 を含むファイルの butil -clone を実行した場合、データベース エンジンのファイル互換性プロパティで [作成ファイルのバージョン] が 13.0 以外に設定されていると、ステータス 41 で失敗することがあります。
PSQL-8884	AES-256 暗号化を使用したファイルに対して Rebuild または rbuildcli ユーティリティを使用すると、リビルドされたファイルは AES-192 暗号化を使用したファイルになります。
PSQL-5135	DDF Builder では 119 を超えるインデックスを持つファイルを保存することができません。
PSQL-5133	DDF Builder では、インターナショナル ソート規則 (ISR) を使用するファイルのテーブル定義を作成できません。DDF Builder は現在、警告を發しません。 データ ファイルが ISR を使用しているかどうかを判断する場合、キーに ACS フラグの 1 つがあるときは、その ACS の 265 バイトを調べます。 <ul style="list-style-type: none"> 識別バイトが 0xAC の場合は、ユーザー定義 ACS です。 識別バイトが 0xAD の場合は、ロケール固有の ACS です。 識別バイトが 0xAE の場合は、ISR です。
PSQL-5132	Function Executor のオーナー ネームのクリアは、正しいオーナー ネームが提供されても "不正なオーナー ネーム" メッセージを返すことがあります。 回避策: オーナー ネームを指定してファイルを開いてから、オーナー ネームをクリアしてください。
PSQL-5130	butil @commandfile では引用符で囲まれたパスを正しく使用できません。
PSQL-5129	PCC/ZenCC で、保護されたデータベースの [バウンド] プロパティを設定すると、一般エラーが発生します。
PSQL-5126	DDF Builder は GUID のプレビュー値を表示しません。
PSQL-5123	Rebuild GUI ユーティリティのキャンセルが機能しません。
PSQL-5122	DDF Builder はデータベース チェック中に、オーナー ネームを持つテーブルのオーナー ネームを、キャンセル操作しても何度も要求します。
PSQL-5119	bcfg の [最小の状態に戻す待ち時間] の範囲の説明が間違っています。
PSQL-5118	DateTime のプレビューはミリ秒値を表示しません。

Unicode

追跡番号	説明
PSQL-5805	アプリケーションが ICU (International Components for Unicode) 照合順序のファイルを読み取ろうとした場合、キャッシュ エンジンはステータス 135 "指定されたインターナショナル ソート規則 (ISR) テーブルは破損しているか、または不正です" を返します。

Zen 既知の問題

ソフトウェア開発キット (SDK)

Distributed Tuning Interface (DTI)

追跡番号	説明
PSQL-10178	ActiveX では、多数のテーブルを作成したり削除したりした後に ID が不足する場合があります。
PSQL-8761	DTI カタログ関数 PvGetTableStat*() は、システム データとシステム データ v2 を区別しません。